大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F140210110607	設置等組織名	情報イノベーション学部（情報エンジニアリング学科、共創社会システム学科）
大学名	北九州市立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	福岡	事業計画名	北九州市立大学情報イノベーション学部開設事業

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-① 令和 5年10月 事務体制の充実 1-② 令和 5年10月 企業との連携に関する基本協定締結 ~~1-③ 令和 5年11月 学生確保のため、高校や受験生対象にニーズ調査を実施（R６.９.３承認）~~ ~~1-④ 令和 5年11月 社会ニーズを把握するため、市内企業対象に採用意向調査を実施（R６.９.３承認）~~ ~~1-⑤ 令和 6年 1月 文部科学省との事前協議（R６.９.３承認）~~ 1-⑥ 令和 6年 3月 北九州市・他大学との設置計画に係る説明・協議 ~~1-⑦ 令和 6年 3月 新学部設置に係る計画（案）の策定（R６.９.３承認）~~ 2前-① 令和５年 ９月 新学部棟の建設地決定（R６.９.３承認） ~~2前-② 令和５年10月 敷地調査実施、基本計画の着手（R６.９.３承認）~~ ~~2前-③ 令和６年 ３月 新学部棟基本計画の策定（R６.９.３承認）~~	1-① 令和 5年10月 事務体制の充実（助成金担当の事務補佐員を採用） 1-② 令和 6年 3月 協定内容について連携予定企業と協議 1-⑥ 令和 5年 7月～令和 6年 3月 北九州市と設置に係る協議 2前-① 令和 6年 1月 新校舎の都心部への設置を北九州市長へ要望 【改組内容】 ・令和５年 開設年度を令和８年度から令和９年度に変更して検討中 ・令和５年 「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更して検討中 ・令和５年 学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係から工学関係のみに変更して検討中 ・令和５年 入学定員を120名から118名に変更して検討中	令和5年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 ・新校舎の土地の取得や整備方法について、関係者との合意形成に時間を要したため、開設時期を１年延期することとなった。（R6.2.8事業遅延届提出） 今後、計画変更申請を行い、次年度は企業との連携に関する基本協定の締結や、カリキュラムを策定する。 ・当初、「学部の新設」を想定していたが、カリキュラムの検討が進む中で、学位の分野に変更はない方向性となったため、「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更した。 ・当初、学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係で想定していたが、カリキュラムの検討が進む中で、工学関係に変更した。 ・当初、入学定員120名を想定していたが、学内の定員調整の結果、118名に変更した。 新校舎の建設にあたり、学部の特色を活かすべく企業との連携や学生の確保が十分に行える最適な場所について検討、調整を行ってきたが、候補となる土地の取得や校舎の整備方法について、関係者との合意形成に時間を要したため、開設時期を１年延期することとなった。（事業遅延届提出済み） 今後、計画変更申請を行い、次年度は基本設計を策定する。
令和6年度	1-① 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等）（R６.９.３承認） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結）（R６.９.３承認） 1-③ 令和 6年 4月 高校生を対象にニーズ調査を実施（R６.９.３承認） ~~1-⑧ 令和 6年 6月～ 教員体制の整備（R６.９.３承認）~~ ~~1-⑨ 令和 6年 6月 文部科学省の事前相談（結果通知：８月下旬頃）（R６.９.３承認）~~ 1-⑩ 令和 6年 8月～令和 9年 3月 新学部のPR活動（R６.９.３承認） 1-⑬ 令和 6年 8月 開設年度を令和8年度から令和9年度に変更申請（R６.９.３承認） 1-⑪ 令和 7年 3月 新学部のカリキュラム（案）決定（R６.９.３承認） 2前-① 令和 6年 5月 新校舎の建設地決定（R６.９.３承認） ~~2前-④ 令和 6年 4月 新学部棟 基本設計・実施設計の着手（R６.９.３承認）~~ ~~2前-⑤ 令和 6年12月 新学部棟 基本設計・実施設計の完了（R６.９.３承認）~~ 2前-⑥ 令和 6年 7月～令和 7年 3月 基本設計（R６.９.３承認）	1-① 令和 5年10月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結） 1-③ 令和 7年 3月 春のオープンキャンパスで高校生を対象にアンケートを実施 1-⑩ 令和 6年 8月～ 新学部のPR活動、令和6年12月に公式ウエブサイトを開設 1-⑬ 令和 6年 8月 開設年度を令和8年度から令和9年度に変更申請 1-⑪ 令和 7年 3月 新学部のカリキュラム（案）を作成 2前-① 令和 6年 5月 新校舎の建設地決定 2前-⑥ 令和 6年 6月～令和 7年 3月 基本設計 【改組内容】 ・令和５年 開設年度を令和８年度から令和９年度に変更して検討中 ・令和５年 「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更して検討中 ・令和５年 学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係から工学関係のみに変更して検討中 ・令和５年 入学定員を120名から118名に変更して検討中	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 ・令和６年８月に開設年度を変更する事業計画変更申請を提出し９月に承認された。 ・令和６年１２月には特設ウエブサイトを公開し、様々な媒体を通じて新学部のPR活動を行ってきた。 ・令和７年３月の春のオープンキャンパスで高校生を対象にアンケートを行った。 ・令和６年度は、カリキュラム（案）を作成し、企業等との連携に関する協議・調整等を行い、一部企業との連携協定の締結を行った。次年度以降も企業等との協議を進めていく。 令和６年８月に開設年度を変更する事業計画変更申請を提出し９月に承認された。 令和７年３月に新校舎の基本設計を完成した。 令和７年４月から実施設計を行う。
令和7年度	1-① 令和 5年10月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等）（R7.10.7承認） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結） 1-⑩ 令和 6年 8月～令和 9年 3月 新学部のPR活動 1-⑧ 令和 7年 4月 教員体制の整備（R６.９.３承認） 1-⑨ 令和 7年 6月 文部科学省の事前相談（結果通知：８月下旬頃）（R６.９.３承認） 1-⑫ 令和 7年 7月～令和 8年 2月頃 高校生を対象に入学意向調査を実施（R６.９.３承認） 1-⑭ 令和 7年 9月 「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」、学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係から工学関係のみに、入学定員を120名から118名に変更申請（R7.10.7承認） 2前-⑧ 令和 7年 7月～令和 8年 3月 実施設計（ECI方式）（R６.９.３承認）（開始月と方式 R7.10.7承認） ~~1後-① 令和 7年 6月 学生募集開始（R６.９.３承認）~~ ~~1後-② 令和 7年10月 企業との連携協定締結（R６.９.３承認）~~ ~~1後-③ 令和 7年12月 新学部開設記念シンポジウム開催（R６.９.３承認）~~ ~~2-① 令和 7年 6月 新学部棟 着工（R６.９.３承認）~~ ~~2-② 令和 7年12月 新学部棟 竣工（R６.９.３承認）~~ ~~2-③ 令和 8年 3月 設備、什器等の設置（R６.９.３承認）~~	1-① 令和 5年10月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結） 1-⑩ 令和 6年 8月～令和 9年 3月 新学部のPR活動 1-⑧ 令和 7年 4月～ 教員体制の整備 1-⑨ 令和 7年11月 文部科学省の事前相談（結果通知：令和８年１月、結果：「届出」） 1-⑫ 令和 7年 7月～令和８年２月頃 高校生を対象に入学意向調査を実施 1-⑭ 令和 7年 9月 「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」、学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係から工学関係のみに、入学定員を120名から118名に変更申請 2前-⑧ 令和 7年 7月～令和 8年 3月 実施設計（ECI方式） 【改組内容】 ・令和５年 開設年度を令和８年度から令和９年度に変更して検討中 ・令和５年 「学部の新設」から「学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）」に変更して検討中 ・令和５年 学位分野を工学関係、社会学・社会福祉学関係から工学関係のみに変更して検討中 ・令和５年 入学定員を120名から118名に変更して検討中	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	1-① 令和 5年10月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結） 1-⑩ 令和 6年 8月～令和 9年 3月 新学部のPR活動 1後-① 令和 8年 6月 学生募集開始（R６.９.３承認） 1後-③ 令和 8年12月 新学部開設記念シンポジウム開催（R６.９.３承認） 2-① 令和 8年 4月 着工（R６.９.３承認）（R7.10.7承認） ~~2-④ 令和 8年 4月～令和 9年 3月 建設工事、什器等の搬入（R６.９.３承認）~~（R7.10.7承認） ~~3-① 令和 8年 6月 新学部・学科アセスメント部会設置（R６.９.３承認）~~ ~~3-② 令和 8年 7月 新学部のPR活動（継続実施）~~（R６.９.３承認） ~~3-③ 令和 8年 9月 アセスメント部会によるカリキュラムの自己点検・評価実施（R６.９.３承認）~~ ~~3-④ 令和 8年10月 外部評価委員会の設置、開催（北九州市、商工会議所、企業等）~~（R６.９.３承認）	1-① 令和 5年10月～ 令和 9年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告等） 1-② 令和 6年 4月～ 令和 9年 3月 企業等、関係機関との連携に関する協議（随時、連携協定締結） 1-⑩ 令和 6年 8月～令和 9年 3月 新学部のPR活動 1後-① 令和 8年 7月 学生募集開始 1後-③ 令和 8年12月 新学部開設記念シンポジウム開催 2-① 令和 8年 7月 着工	令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	2後-① 令和10年 1月 竣工（R7.10.7承認） 2後-② 令和10年 3月 什器等の搬入（R7.10.7承認） 3-⑪ 令和 9年 4月～令和13年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告、ICT推進等）（R６.９.３承認） 3-② 令和 9年 4月～令和13年 3月 新学部のPR活動（R６.９.３承認） 3-① 令和 9年 6月 新学部・学科アセスメント部会設置（R６.９.３承認） 3-③ 令和 9年 9月 アセスメント部会によるカリキュラムの自己点検・評価実施（R６.９.３承認） 3-④ 令和 9年10月 外部評価委員会の設置、開催（R６.９.３承認）		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	3-⑪ 令和 9年 4月～令和13年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告、ICT推進等）（R６.９.３承認） 3-② 令和 9年 4月～令和13年 3月 新学部のPR活動（R６.９.３承認） 3-⑤ 令和10年 9月 アセスメント部会によるカリキュラムの自己点検・評価実施（R６.９.３承認） 3-⑥ 令和10年10月 外部評価委員会の開催（R６.９.３承認） □		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和 9年 4月～令和13年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告、ICT推進等）（R６.９.３承認） 3-② 令和 9年 4月～令和13年 3月 新学部のPR活動（R６.９.３承認） 3-⑦ 令和11年 9月 アセスメント部会によるカリキュラムの自己点検・評価実施（R６.９.３承認） 3-⑧ 令和11年10月 外部評価委員会の開催（R６.９.３承認）		令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和 9年 4月～令和13年 3月 助成事業に係る業務（経理業務、実績報告、ICT推進等）（R６.９.３承認） 3-② 令和 9年 4月～令和13年 3月 新学部のPR活動（R６.９.３承認） 3-⑨ 令和12年 9月 アセスメント部会によるカリキュラムの自己点検・評価実施（R６.９.３承認） 3-⑩ 令和12年10月 外部評価委員会の開催□R６.９.３承認）		令和12年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和８年４月 情報イノベーション学部 学部の設置届出予定（R６.９.３承認）	令和８年６月 情報イノベーション学部 学部の設置届出予定	
定員減又は 学部等の廃止	令和８年４月 118人減員に係る届出予定（入学定員118人）（設置年：R６.９.３承認）（定員：R7.10.7承認）	令和８年６月 118人減員に係る届出予定（入学定員118人）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	北九州市立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑭の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通した教育体制の整備と実施）（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
北九州市に本店または主要拠点を置く複数の企業、具体的には、日本IBM（株）、三菱総研DCS（株）、（株）日本政策投資銀行と新学部のカリキュラム構成、実務家による教育科目の整備などについて協議する。また、これまでに連携実績がある複数の企業と、社会人教育の方法や内容等について協議する。さらに、本学が総合大学であることの強みを活かし、北九州市とも連携して、新エネルギーや循環経済等の課題に関する文理融合PBL型の授業科目を開講するための教育体制について協議する。地域の他大学との連携としては、九州工業大学や北九州工業高等専門学校と連携し、データサイエンス分野やAIとグリーンテクノロジーの融合分野について共同講座の開設に向けた協議を開始する。海外大学との連携としては、ドイツ・ブレーマーハーフェン大学との風力発電・再生可能エネルギー分野の人材育成等に係る学術交流協定（平成30年締結）に基づき、学部・大学院連携のグリーン・グローバル人材育成プログラムの開発について協議する。	・地元主要企業との協議：令和７年度は(株)ゼンリンやNTT西日本(株)など、計18社(累計25件28社)と協定を締結し、複数の企業（地元企業を含む）と企業間協定の締結に向けて協議を行った。 ・社会人教育の充実：新学部におけるリカレント教育に参加しやすい環境作りとして、令和７年度は、企業向け北九州DX推進大学・Pythonハンズオンプログラム（３社x４日間 ）を開催した。 ・文理融合PBL型授業の開講：北九州GX推進コンソーシアムに基づき、北九州市と連携し、文理融合PBL型教育のための環境づくりを引き続き進めている。洋上風力分野を中心とした新学部との連携可能性について検討を進めてきた。一方で、現時点では当該コンソーシアムは主として大学院教育を対象とした枠組みであることから、新学部学士課程との直接的な接続については、引き続き検討・調整を要する状況である。 　また、大学等コアリションの大学間ネットワークを活用して、地域脱炭素やGX人材育成に関する他大学との連携の可能性について検討を行い、今後は新学部教育との接続に向けて検討を進める予定である。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
周辺地域の高等学校等への説明会、進路指導者や保護者向けのデータサイエンス公開講座、公共施設・商業施設を活用した大学展示ブースの設置などを実施する。また、入学者選抜における総合型選抜の導入や指定校推薦枠の設置、及び北九州工業高等専門学校との連携強化による編入学枠の設置などを検討し、受験生確保を強化する計画である。さらに、本学では、JST女子中高生の理系進路選択支援プログラムを活用し、オンラインラボや体験ラボで理系進路を応援する北九州サイエンスガールプロジェクトを推進しているため、そのネットワークを活用し新学部における理系女子支援プログラムも企画する。同様に、JSTスタートアップ・エコシステム形成支援事業では、若松区ひびきの小学校とのアントレプレナーシップ教育連携を展開しており、潜在的な新学部の入学者候補への広報活動も計画する。一方、社会人学生の受入れ強化に向けた取組については、本学が平成29年度以降に実施してきた社会人向けのIT系リカレントプログラム（enPiT-Pro他）において、これまで延べ約500名を受け入れてきており、引き続き、履修証明制度を活用してリカレント教育を推進する。	・地域高等学校への取り組み：進路指導担当者懇談会、学校訪問等の機会を利用し説明を行っていく。 ・入学者選抜の強化：多様な人材の確保を進めるため、学校推薦型、総合型選抜など新学部の入学者選抜試験の検討を行った。 ・令和６年に採択された「次世代チャレンジプログラム（STELLA）」において、高校生を主対象とした「GEEKKイニシアチブ」プログラムを令和７年度：参加者数は、のべ260名（エントリープログラム 186名、ギークプログラム：1期26名修了・2期40名（うち36名修了）、エキスパートプログラム：1期8名（うち4名修了））あり、1期ギークプログラム修了生18名についてフォローアップを行った。（エキスパートプログラムの2期は令和８年度開始10名参加） ・女子学生の理系進路支援：女子中高生の理系進路選択支援プログラム「JST理系進路選択支援・サイエンスラボ北九州プロジェクト」の「北九州から発信する、中高生とその保護者に向けた理系進路応援プロジェクト　サイエンスラボ・from北九州」を引き続き実施していく。 ・新学部の入学者候補への広報活動：上記の活動とともに、オープンキャンパス、進路ガイダンス、北九州市内を中心に福岡県内外の高校（73校）を直接訪問し、進路指導担当教員への説明、高校生へのリーフレットなどの配付をとおして新学部の広報を行った。 ・社会人学生の受入れ：新学部におけるリカレント教育に参加しやすい環境作りを引き続き進めていく。	

大学名	北九州市立大学

１.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	北九州市立大学

本事業対象となる学部等の個数	2

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	情報イノベーション学部　情報エンジニアリング学科(工学関係)

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定			届出															
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	北九州市立大学

(2)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	情報イノベーション学部　共創社会システム学科(工学関係)

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定			届出															
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	北九州市立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	255	255	255	255															
		入学者数	人	268	273	271	268															
		女子学生数	人	51	72	84	77															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	6	8	4	2															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	255	255	255	255															
		入学者数(B)	人	268	273	271	268															
		女子学生数	人	51	72	84	77															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	6	8	4	2															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.07	1.06	1.05															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,020	1,020	1,020	1,020															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1,104	1,123	1,132	1,125															
		編入学者数	人	16	17	14	7															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.10	1.11	1.10															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	245	243	251																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	39	39	81	82															
		授業科目の単位数	単位	15	15	32	32															

大学名	北九州市立大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1399	1399	1399	1399															
		入学者数	人	1460	1478	1483	1478															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,399	1,399	1,399	1,399															
		入学者数(B)	人	1,460	1,478	1,483	1,478															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.06	1.06	1.06															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5596	5596	5596	5596															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	6153	6197	6218	6207															
		編入学者数	人	42	43	32	22															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.11	1.11	1.11															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−6年	申請−５年	申請−４年	申請−３年	申請−２年	選定													
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	838,379	735,074	777,092	719,730	823,198	706,958	722,751	1,065,493											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額	千円	778,454
本事業による助成金の額(F)	千円	1,420,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	813,954

特記事項

編入学定員0人とは、若干名を意味している。
「４.外部資金の状況（全学）」のR6年度額を修正（R8.5）